

# KENWOOD

CD パーソナルステレオシステム

## CDX-A3

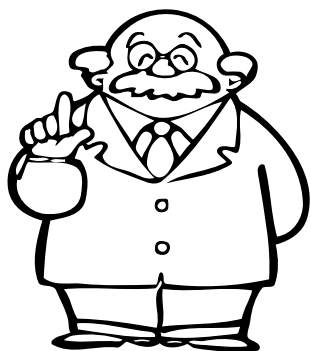
### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION



## 本機の特長



### 多彩なCD再生機能

自由にプログラムして、好きな順に聴けるプログラム機能、再生中の曲を繰り返し再生したり、ディスク全体を繰り返し再生するリピート機能やディスクの曲を順不同に再生するランダム機能を備えています。

### 便利なCDシンクロ録音機能

簡単な操作でCDを録音する事ができます。

### 便利なタイマー機能

音楽で目覚めるウェイクアップタイマー、電源が切れる時間を設定できるスリープタイマーに加え、アラーム機能を備えています。

## 目次

△のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

はじめに .....	2	テープを聴く/テープに録音する .....	13
本機の特長 .....	2	録音をする .....	13
△安全上のご注意 .....	3	時計やタイマーを使う .....	14
各部のなまえ .....	9	現在時刻を合わせる .....	14
△電源について .....	9	おやすみタイマーを使う .....	14
家庭用電源で使うとき .....	9	ウェイクアップタイマーやアラームを使う .....	14
乾電池で使うとき .....	9	アラームを止めるには .....	14
音を出してみましょ(ラジオを聴く) .....	10	知っておきましょう .....	15
ヘッドホーンで聴くとき .....	10	バックライトを点灯させるには .....	15
低音を強調して聴く .....	10	表示を切り換えるには .....	15
CDを聴く .....	11	メンテナンス .....	16
CDを繰り返し再生したり、順不同に		故障かな?と思ったら .....	17
再生する .....	11	△定格 .....	18
CDの曲を好きな順に並べ替えて聴く .....	12	保証とアフターサービス(よくお読み	
		ください) .....	19

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

## 絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。


お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。



- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。(説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります)

## 交流100ボルト以外の電圧で使用しない


-  この機器は、交流100ボルト専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 放熱に注意

-  設置の際は、壁から10cm以上離してください。機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
  - 風通しの悪い狭い所  に押し込まない。
  - 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。


通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

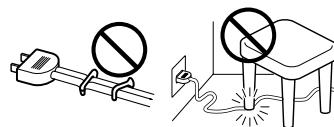
## 風呂、シャワー室では使用しない


-  風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

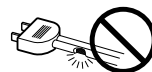


## 電源コードの取扱い


-  電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステーブルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

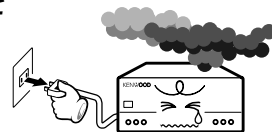


-  電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



## 異常が起きた場合は

-  煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



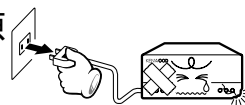
## 電源プラグは清潔に

- ❗ 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



## 落下した機器は使わない

- ⚡ 機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



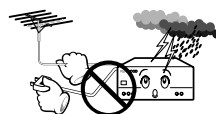
## ケースを絶対に開けないでください

- 🚫 機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。



## 雷が鳴り始めたら

- 🚫 アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



## 機器の内部に水や異物を入れない

- 🚫 機器の上に花瓶やコップなど水の入った容器を置かないでください。こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。
- 🚫 機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

- ⚡ 内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



## 電池は放置しない

- ❗ 電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。電池をあやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

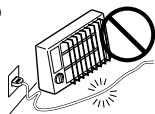
## 乾電池は充電しない

- 🚫 乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。



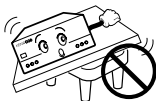
## 電源コードを熱器具に近付けない

- ⊘ 電源コードを熱器具( ストープ、アイロンなど )に近付けないでください。  
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



## 不安定な場所には置かない

- ⊘ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



## 湿気やほこりのある場所に置かない

- ⊘ 油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。



## 温度の高い場所には置かない

- ⊘ 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。  
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



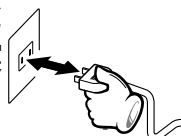
## 電源プラグの抜き差しは

- ⊘ めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因となることがあります。
- ⊘ 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。  
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。  
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  
必ずプラグを持って抜いてください。



- ⚠ 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。  
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



## 長期間使用しないときは



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災の原因となることがあります。

## 機器に乗らない



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。  
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



## 指定以外のコードを使わない



関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。  
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

## 指をはさまない

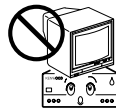


お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。  
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

## 指定機器以外の物を乗せない



この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。  
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



## レーザー光源はのぞかない



レーザー光源をのぞき込まないでください。  
レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

## アンテナ工事



アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。  
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。  
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

## ひび割れディスクは使わない



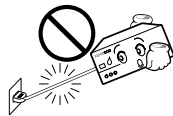
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。  
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

## 音量に気をつけて

- ❗ はじめに音量(ボリューム)を最小にしてください。  
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。  
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。  
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

## 移動させる際は

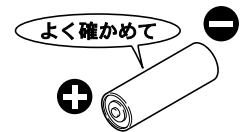
- 🔌 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。  
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



## 電池の取扱い

- ❗ 電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。  
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-")の向き)に注意し、表示通りに入れてください。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。

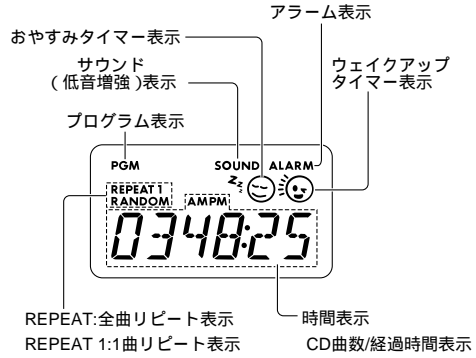
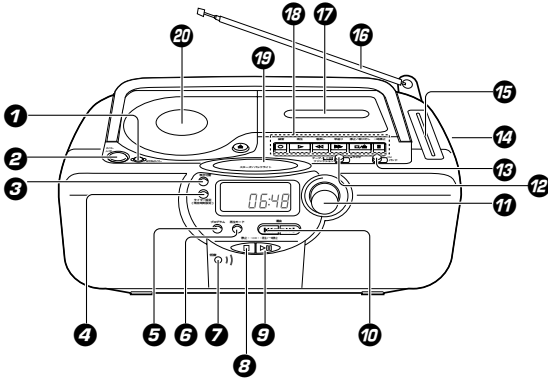
## お手入れの際は

- 🔌 お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。

内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。



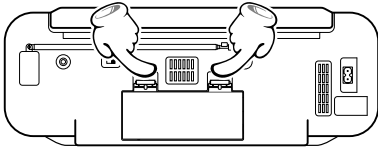


- |  |  |  |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>① おやすみタイマーボタン</li> <li>② タイマー入/切ボタン</li> <li>③ 表示切替</li> <li>④ タイマー設定 (現在時刻設定)</li> <li>⑤ プログラムボタン</li> <li>⑥ 再生モードボタン</li> <li>⑦ 低音ボタン</li> <li>⑧ CD 停止ボタン (■)</li> <li>⑨ CD 再生/一時停止ボタン (▶  )</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑩ 選曲ボタン (◀◀、▶▶)</li> <li>⑪ 音量つまみ</li> <li>⑫ ファンクションつまみ</li> <li>⑬ バンド切替つまみ</li> <li>⑭ 選局つまみ</li> <li>⑮ 周波数表示部</li> <li>⑯ FM ロッドアンテナ</li> <li>⑰ カセット蓋</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑱ カセット操作ボタン<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>   : 一時停止</li> <li>■/▲ : 停止 / 取出し</li> <li>▶▶ : 早送り</li> <li>◀◀ : 巻戻し</li> <li>▶ : 再生</li> <li>● : 録音</li> </ul> </li> <li>⑲ スヌーズ/バックライトボタン</li> <li>⑳ CD 蓋<br/>                     CD 蓋を開閉するときは ▲ 部を押します。                 </li> </ul> |
|--|--|--|

## 電源について

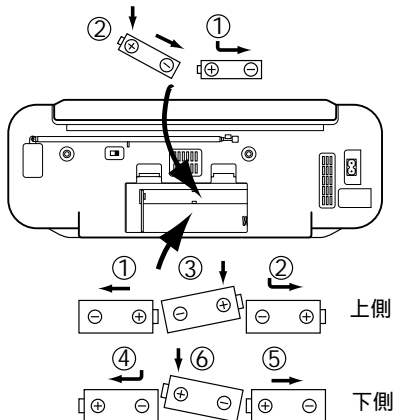
### 乾電池で使うとき

① OPEN部を押して、電池蓋をあける

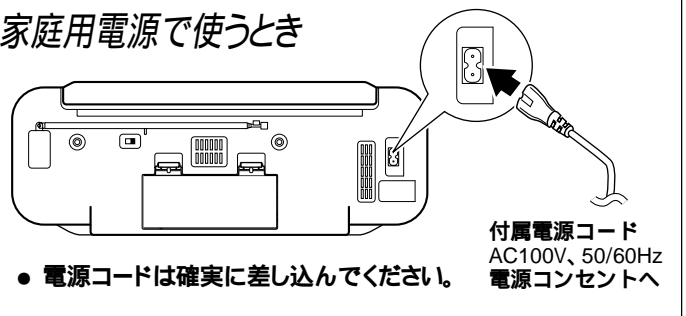


● セットを寝かすと入れやすくなります。

② 電池を入れ、電池蓋を閉める



### 家庭用電源で使うとき



● 電源コードは確実に差し込んでください。

- メモリーバックアップ (保護) 用単三乾電池2本と、単二アルカリ乾電池6本を番号順に入れます。
- +、- の極性に注意して入れてください。
- ⚠ 乾電池6本のうち、1本を逆に接続すると、大変危険です。絶対に逆に入れないでください。
- 市販の単三乾電池2本と単二アルカリ乾電池 (LR14) 6本をご使用ください。
- CDの再生をするときや、大切な録音をするときは、なるべく家庭用電源をお使いください。

### ご注意

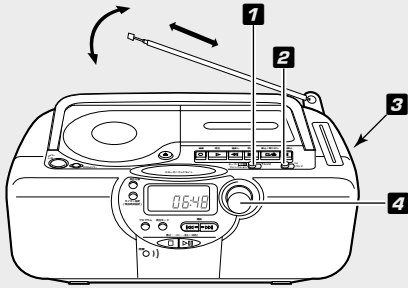
電池でお使いの場合は必ず、電源コードを本機からはずしてください。電源コードが挿してあると、切り替え機能が働いて、電池では動作しなくなります。

### 電池の交換時期について

- 電池が消耗してくると表示部が薄くなります、そのときは、一度に6本とも交換してください。

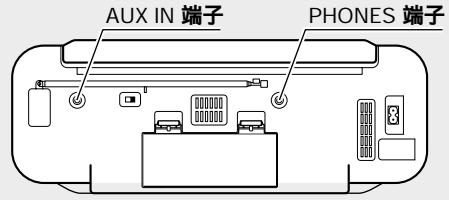
# 音を出してみましょ(ラジオを聴く)

CDX-A3(J)



FM放送を聴くときはロッドアンテナを引き延ばし、感度のよい方向に向けます。

基本的な操作の方法と、ラジオを聴くときの操作です。

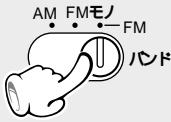


## 1 聴きたいものを選ぶ

ラジオを聴くときは「ラジオ」につまみを合わせます。

RADIO

- CDを聴くとき : ディスクをセットして「ファンクション」つまみをCDに合わせる → 11
- テープを聴くとき : テープを入れ、「ファンクション」つまみをテープに合わせる → 13
- 外部入力を聴くとき : 背面のAUX IN端子に外部機器を接続して、「ファンクション」つまみをAUXに合わせる



## 2 放送バンドを選ぶ

ラジオを聴くときはFMまたはAMバンドを選びます。FMをステレオで聴くときは「FM」に合わせます。FMの電波が弱いときは「FMモノ」を選ぶと雑音が少なくなります。

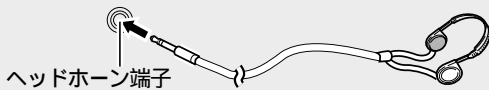


## 3 選局をする



## 4 音量を調節する

### ヘッドホンで聴くとき



- 背面のPHONES (ヘッドホン) 端子に接続します。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーの音は消えます。スピーカーで聴くときはヘッドホンを外してください。

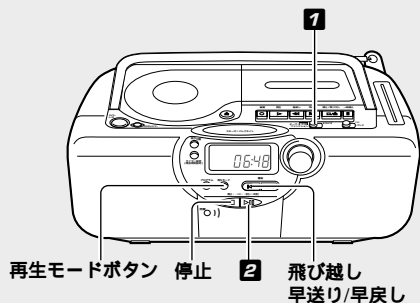
### 低音を強調して聴く

#### 低音ボタンを押す



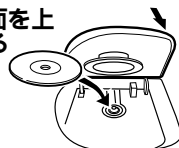
- 一度押すと低音が強調され、もう一度押すと通常再生に戻ります。

- サウンド
- ① " SOUND "点灯
  - ② " SOUND "消灯



▲部を押してふたをあけ、ディスクをトレイに入れます。

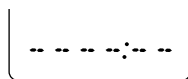
ラベル面を上に入れる



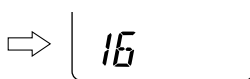
- ふた閉めるときは▲部(矢印)を押して、確実に閉めます。

## 1 CDに切り換える

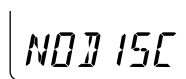
- ディスクの情報が読み込まれると、総曲数が表示されます。



ディスク情報を読み込み中



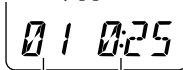
総曲数表示



ディスクが入っていない場合

## 2 再生を始める

- 表示を切り換えるとき



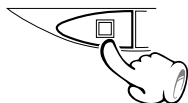
再生中の 再生中の曲の  
曲番表示 経過時間表示

- 15

- お好みの音量に調整します。( - 10 )

### 再生を止める

停止・CD・再生/一時停止



- 再生中または一時停止中に押します。

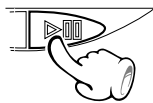
### 曲を飛び越す



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ ボタンを押すと、その曲の最初に戻ります。

### 一時停止する

停止・CD・再生/一時停止



- 表示が点滅します。
- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

### 早送り、早戻しする



- 再生中にボタンを押し続けます。
- 手を離れたところから再生を始めます。

## CDを繰り返し再生したり、順不同に再生する



CDの全曲、または1曲を繰り返し再生したり、順不同に再生することができます。

ボタンを押すごとに切り替わります。

- ① REPEAT 1 (リピート) : 再生している曲を繰り返し再生します。
- ② REPEAT (リピート) : CD全曲を繰り返し再生します。
- ③ RANDOM (ランダム) : CD全曲を順不同に再生します。
- ④ 表示なし : 通常再生に戻ります。

# CDの曲を好きな順に並べ替えて聴く

CDの曲を好きな順に並べ替えて聴くことができます。これをプログラムと言います。

## プログラムをする

- 1** CDの停止中に「プログラム」ボタンを押す



- 2** ◀◀ ボタン、▶▶ ボタンで曲番を選ぶ

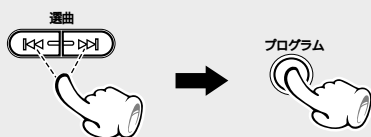


- 3** 「プログラム」ボタンを押し曲番をプログラムに入れる。



- 4** 曲を追加する

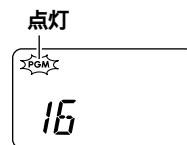
手順②、③を繰り返し順に曲をプログラムします。



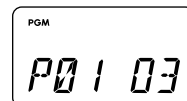
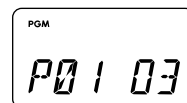
- 5** 再生を開始する



プログラムモードになります。



プログラム番号 曲番点滅



24 曲までプログラムできます。

## プログラムを解除するには

「プログラム」ボタンを再度押すかまたはCDの上蓋をあけるとプログラムを解除する事ができます。

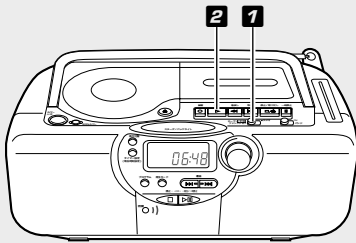
「再生モード」ボタンを押すごとにつぎのように切り換わります。

- ① PGM REPEAT<sup>リピート</sup>  
:再生している曲を繰り返し再生します。
- ② PGM REPEAT  
:プログラムした全曲を繰り返し再生します。
- ③ PGM RANDOM<sup>ランダム</sup>  
:プログラムした全曲を順不同に再生します。
- ④ PGM  
:通常プログラム再生に戻ります。

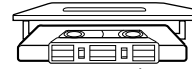
## プログラム順に繰り返し再生をする

プログラムをした後「再生モード」ボタンを押すとプログラムのリピート再生や、ランダム再生をすることができます。





■/▲ボタンを押してカセットフォルダーを開け、テープを入れます。



▲ テープ走行方向

- カセットの厚い方を手前にして入れます。
- ふたを確実にしめてください。
- テープは、たるみのない状態で入れてください。



## 1 テープに切り換える

- 本機はノーマル(TYPE I)テープのみ正常な再生ができます。



## 2 再生をする

- ▶ ボタンを押し再生を開始します。
- お好みの音量に調整します。( - 10 )



再生を止める	■/▲ボタンを押す
一時停止する	ボタンを押す
一時停止の解除	再度    ボタンを押す
早送り	▶▶ ボタンを押す
巻戻し	◀◀ ボタンを押す

# 録音をする

始めに録音するテープを準備します。  
本機はノーマルテープのみ録音できます。

## 1 「ファンクション」つまみを録音したいものに合わせる



- 放送を録音する : ラジオを選ぶ - 10
- CDを録音する : CDを選び、ディスクをセットする - 11
- 外部入力を録音する: AUXを選ぶ - 10

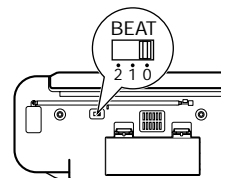
## 2 テープの「●」(録音) ボタンと「▶」(再生) ボタンを同時に押す



- 録音が始まります。  
[CDシンクロ録音機能]
- CD録音のとき、CDをセットして、テープの録音操作をするとCDの再生ボタンを押さなくてもCDの再生がスタートします。
- CDの再生中に録音を開始すると、再生中の曲の最初に戻って、録音が始まります。
- 録音を停止するとCDも自動的に停止します。

### AM放送を録音するときは

AM放送を録音すると「ピーツ」という干渉音が発生することがあります。このときは背面のビートキャンセルスイッチの位置を切り替えて録音してみてください。干渉音は録音する放送局によって変わります。



## 現在時刻を合わせる

### 1 「現在時刻設定」ボタンを3秒以上押す

- 時刻表示が点滅します。



### 2 “時”の単位を調整する



- ◀▶▶▶ ボタンを繰り返し押し調整します。
- “時”を合わせた後「現在時刻設定」ボタンを押します。

### 3 “分”の単位を調整する



- ◀▶▶▶ ボタンを繰り返し押し調整します。
- “分”を合わせた後「現在時刻設定」ボタンを押します。

## おやすみタイマーを使う

### 1 放送や、CDを再生する

- テープ再生時はおやすみタイマーの使用はできません。

### 2 電源が切れるまでの時間を設定する

- 「おやすみタイマー」ボタンを押すごとに時間が切り替わります。



- 設定した時間が過ぎると電源が切れ、表示が“SLEEP”<sup>スリープ</sup>に変わります。通常の操作に戻すには「おやすみタイマー」ボタンを押すか、「ファンクション」つまみを切り替えてください。

## ウェイクアップタイマーやアラームを使う

### 1 タイマー動作する時間を設定する

#### ① 「タイマー設定」ボタンを押す。

- ◀▶▶▶ ボタンを繰り返し押しして“時”を合わせた後「タイマー設定」ボタンを押します。
- ◀▶▶▶ ボタンを繰り返し押しして“分”を合わせた後「タイマー設定」ボタンを押します。



### 2 ウェイクアップタイマーを使う場合は再生内容を設定する

- ラジオまたはCDを選ぶ  
(テープ、AUXではウェイクアップタイマーは使えません)
- 音量を設定する


### 3 タイマーをセットする

- 「タイマー入/切」ボタンを押すごとにタイマーが切り替わります。




- ① アラームタイマー
- ② ウェイクアップタイマー  
(テープ、AUXのときは表示されません。)
- ③ タイマー解除

#### アラームタイマー

 : 設定した時間がくるとアラーム音が30分間鳴り続けます。

#### ウェイクアップタイマー

 : 設定を完了すると約8秒で電源が切れます。設定した時間がくるとラジオまたはCDが再生されます。

## アラームを止めるには

### スヌーズ機能

アラームが鳴っているときに「スヌーズ」ボタンを押すとアラームが止まります。5分後に再度アラームが鳴り始めます。最初に鳴ったときから30分間繰り返し鳴り続けます。

### 感振センサー

セットをたたいて振動させると「スヌーズ」ボタンを押したときと同じ動作をします。

### 完全に止めるには

「タイマー入/切」ボタンを押してタイマーを解除します。(表示が消えます。)

## バックライトを点灯させるには

家庭用電源で使用しているとき

電源オンの時 : 常に点灯しています。  
電源オフの時 : 通常は消灯しています。  
点灯させるには  
➡ どれか押しボタンを操作すると約8秒間点灯します。

乾電池で使用しているとき

通常は消灯しています。  
点灯させるには  
➡ どれか押しボタンあるいはファンクションつまみを操作すると約8秒間点灯します。

## 表示を切り換えるには

「表示切替」ボタンを押すとそのときの状態によって、表示が切り替わります。



ラジオ受信中

① TUNER表示

RADIO

② 現在時刻表示

PM 7:25

外部入力時

① AUX表示

AUX

② 現在時刻表示

PM 7:25

テープ再生中

① TAPE表示

TAPE

② 現在時刻表示

PM 7:25

CD再生時

① 再生中の曲番/  
経過時間表示

01 0:25

② 現在時刻表示

PM 7:25

CD停止中

① 総曲数表示

16

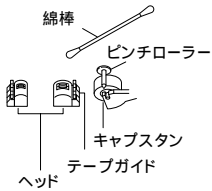
② 総再生時間表示

30:25

③ 現在時刻表示

PM 7:25

## ヘッドのお手入れ



いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

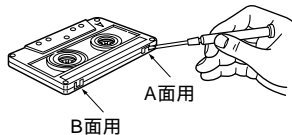
1. カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っ掛けたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

## カセットテープについてのご注意

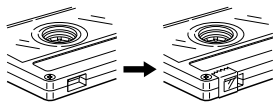
### 誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。



### 再び録音するには

ツメを折った所だけにテープをはる。



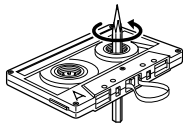
## カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。

また、磁石や磁気は近づけないでください。

### テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。




## 90分以上のテープやエンドレステープについて

90分以上のテープや、エンドレステープはピンチローラーに巻きついたり、切れたり、トラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。

## ディスク使用上のご注意

### 使用できるディスクについて

本機は  マークのついたディスクを再生できます。それ以外のディスクは再生できません。8cm シングル盤はそのまま再生できません。市販のシングル CD アダプターは使用しないでください。

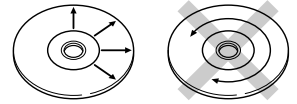
### 取り扱い

再生面に触れないように持ってください。

再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

### お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽く拭き取ってください。



### 保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

## 簡単なお手入れ

### 本体のお手入れ

本体の汚れは柔らかい布で、からぶきしてください。汚れがひどいときは、湿らせた布で拭いてください。ベンジン・シンナーなどは機器を傷めますので使用しないでください。

### 端子のお手入れ

ヘッドホンのプラグは柔らかい布でからぶきし、常にきれいに保つようにしてください。汚れていると、雑音や誤動作の原因になります。

## 結露について

暖房をつけた直後や、湿気(または湯気)の多い部屋などでは、本機のレンズに露がついて正しく働かないことがあります。このようなときは、約1時間放置してから再生してください。

## ステレオ音のエチケッ

- 楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。近くにいる人や、となり近所への配慮を十分にいたしましょう。
- 特に密集した場所でご使用になる場合は、音量を控え目にするなどして、お互いに心を配り、快適な生活環境を守りましょう。





調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

症 状	原 因	処 置
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●音量を最小にしている。</li> <li>●電源コードが抜けている。</li> <li>●ヘッドホンプラグが差し込まれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適当な音量にする。</li> <li>●電源コードを確実に差し込む。</li> <li>●ヘッドホンプラグを抜く。</li> </ul>
放送に雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンテナの向きが合っていない。</li> <li>●テレビの近くで使っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●雑音の少ない方向にアンテナや、本体の向きを変える。</li> <li>●テレビから離す。</li> </ul>
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが裏返しに入っている。</li> <li>●ディスクがずれている。</li> <li>●ディスクが入っていない。</li> <li>●ディスクに傷が付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> <li>●ディスクを正しく入れ直す。</li> <li>●再生できるディスクを入れる。</li> <li>●ディスクを取り替える。</li> </ul>
"NO DISC" が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクが入っていない。</li> <li>●ディスクが裏返しに入っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生できるディスクを入れる。</li> <li>●ラベル面を上にして、正しく入れる。</li> </ul>
"ERROR" が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクに異常がある(ディスクが読み込めないなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生できるディスクに交換する。</li> </ul>
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクがひどく汚れている。</li> <li>●本機に震動が加わっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ディスクを清掃する。</li> <li>●震動のない場所に設置する。</li> </ul>
テープの音がかすれたり高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドが汚れている。</li> <li>●テープがのびたり、ワカメ状になってる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドを清掃する。</li> <li>●テープを交換する。</li> </ul>
テープの音がふるえる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。</li> <li>●テープに巻き取りムラがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●キャプスタン、ピンチローラーを清掃する。</li> <li>●テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。</li> </ul>
再生ボタンを押しても音がでない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●切換えがCDになっている</li> <li>●未録音テープを再生している。</li> <li>●テープが入っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●テープに切り換える。</li> <li>●録音済みテープと交換する。</li> <li>●録音済みテープを入れる。</li> </ul>
録音ボタンを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットテープのツメが折れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。</li> </ul>

## チューナー部

FM受信周波数範囲 .....	76MHz ~ 108MHz
AM受信周波数範囲 .....	530kHz ~ 1,620kHz
テレビ受信チャンネル .....	1 ~ 3チャンネル

## アンプ部

実用最大出力 .....	2 W+2 W (EIAJ)
--------------	----------------

## CDプレーヤー部

読み取り方式 .....	非接触光学式読み取り
ワウ・フラッター (EIAJ) .....	測定限界以下

## カセットデッキ部

トラック方式 .....	4トラック2チャンネルステレオ
録音方式 .....	交流バイアス
ヘッド 録音 / 再生用 .....	1
消去用 .....	1

## スピーカー部

口径 .....	8 cm
形状 .....	コーン型
インピーダンス .....	3

## 総合

## 電源

交流 .....	AC100V, 50Hz/60Hz
直流 .....	DC 9V (単二乾電池×6本)
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) .....	17 W
電池持続時間 (アルカリ単二乾電池使用、参考値) (EIAJ)	
CD再生時 .....	約 10 時間
テープ再生時 .....	約 18 時間
ラジオ受信時 .....	約 28 時間
最大外形寸法 .. (幅)386×(高さ)152×(奥行き)203 mm	
本体質量(重量) .....	3.3 kg (乾電池含まず)
付属品 .....	電源コード×1 単三乾電池 (バックアップ用)×2

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

## 保証書(別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

## 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

**修理に関するご相談ならびにご不明な点は修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。**  
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

## 補修用性能部品の保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

## 修理を依頼される時は

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

## 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

## 保証期間が過ぎている時は

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 出張修理 / 持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをご知らせください。

- 製品名 .....
- 製造番号( Serial No. ) .....
- お買い上げ年月日 .....
- 故障の症状(できるだけ具体的に) .....
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください) .....
- お名前、電話番号、訪問ご希望日 .....

## 修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## お買い上げ店名

電話( ) -

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京 電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9

カスタマーサポートセンター大阪 電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。